



解放運動推進ってわかりにくい!

～ 真宗僧侶と差別問題 ～



開催趣旨

〔解放運動推進本部のねがい〕

真宗大谷派は、部落差別問題によって教団の差別体質が問われ、靖国問題によって教団の歴史と国家の関係が問われてきました。解放運動推進本部の役割は、この問われてきた課題が、差別を受けてきた人たちや、特定の人たちだけの問題ではないことを明らかにし、真宗の信仰の課題としていくことにあります。いかなる差別も、人のいのちと尊厳にかかわる問題です。自らの差別する心を直視し、社会に厳然と存在している差別問題が、僧侶・門徒一人ひとりの課題となることを願い、さまざまな取り組みを進めています。

(<https://jodo-shinshu.info/kaisui/>)

宗派はこのような「ねがい」を掲げていますが、内部でパワハラ問題が起こるなど、私達の身近なところで今も差別問題は起こり続けています。

- ・私たちは真宗の教えを聞いているのに、どうしてその中で差別問題が起こるのでしょうか?
- ・問われてきた課題を「真宗の信仰の課題としていく」とは、どういうことでしょうか?

あらためて、みなさんと一緒に考えたいと思い、この研修会を企画しました。ご参加をお待ちしています!!

日時

4月15日(金)

13:30~17:00

場所

小松教務所 (小松市小馬出町 26)

講師

谷 祐真 氏

(本山 解放運動推進本部本部委員)

日程

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会式 (真宗宗歌・挨拶)
- 13:45 講義 (途中休憩あり)
- 15:30 攻究 (講義内容の確かめ)
- 16:20 攻究発表・まとめ講義
- 16:50 閉会式 (恩徳讃)
- 17:00 終了

対象

真宗大谷派教師、どなたでも

参加費

200円 ※ おみあかし(お賽銭)として

連絡先

小松教務所 (担当 西山)

TEL: 0761-22-0555

メール: komatsu@higashihonganji.or.jp

主催

真宗大谷派小松教区教化委員会 社会教化部門解放運動推進専門部会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

小松教務所開催の行事は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、以下のことを行っています

- ・ 法話講師にもマスク等の着用を依頼
- ・ 2 m間隔を確保する席配置
- ・ 換気のため法話中も扉を解放
- ・ アルコール消毒液の設置
- ・ 赤外線体温計を使用した体温測定
- ・ 参加者名簿を作成

本講座に参加される皆様にご留意いただきたい事柄

講座に参加される方は、下記項目をご確認のうえ、
新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めてご参加ください

参加者に留意いただきたい事項

- 体調が優れない場合は、参加を控えてください
- ハンカチを持参し、マスクは必ず着用してきてください
- 入場時、休憩時、退場時には必ず手洗いや手指の消毒を行ってください
- 「新しい生活様式の実践例」などを参考に、日常的な自己管理を徹底し、感染症の媒介者とならないようにご注意ください
- 新型コロナウイルス感染症への対処法を正しく理解し実行することで、差別や風評被害が広がらないように努めてください

〔 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のための
小松教区 法要・聞法会開催のためのガイドライン(第2報)より 〕